

# 福祉にいがた

Fukushi Niigata

2025  
第870号 2月号

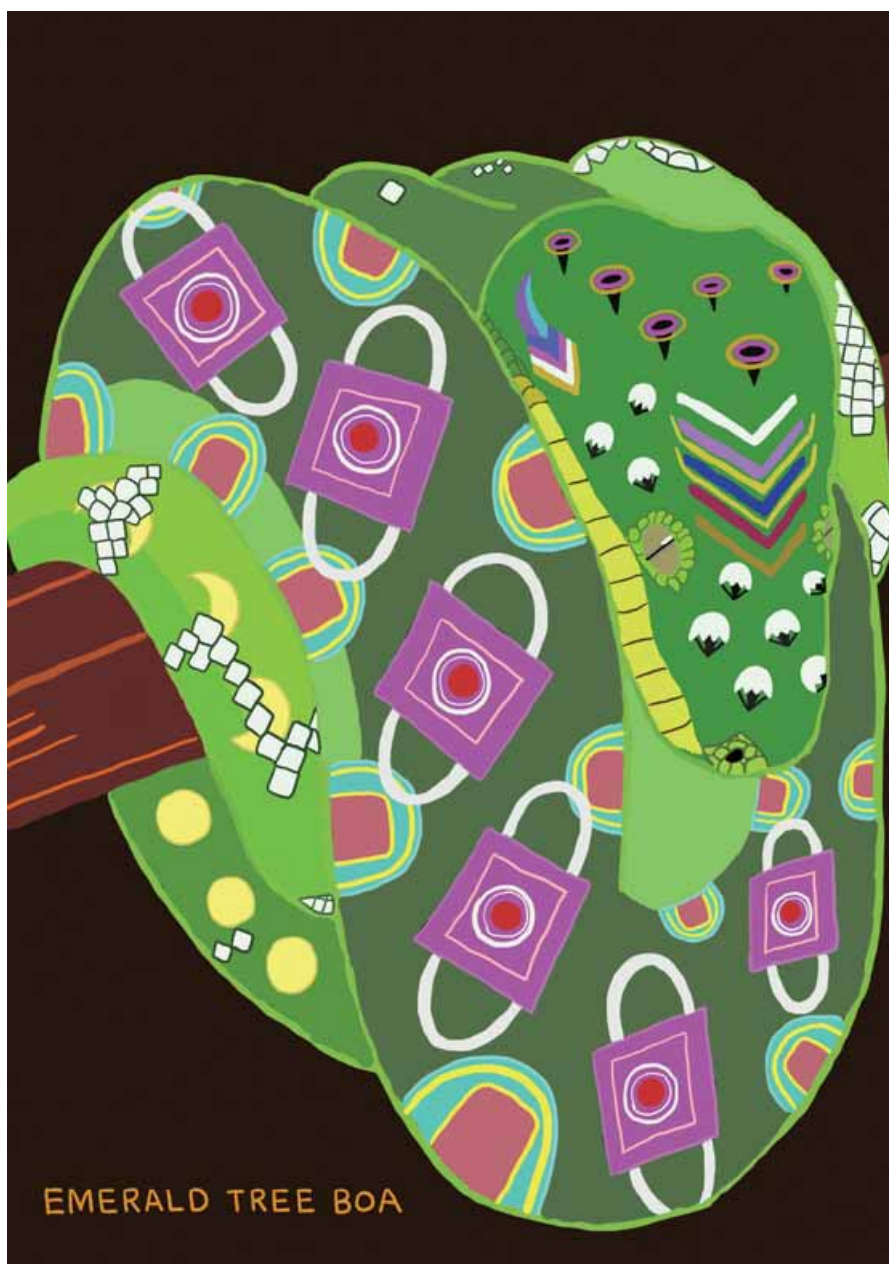
## CONTENTS

### 巻頭特集

### 真柄福祉財団設立30周年

### 理事長インタビュー（2～4面）

● 令和7年度県予算案、福祉団体が知事へ要望 ● 中途失聴―県協会長に聞く



絵 「エメラルドツリーボア」 作・久保田 学（聖籠町）  
〈作者一言〉アマゾンの樹上に生息する大型ヘビ。木の上から下がり獲物を丸呑みする



社会福祉  
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp>

# その人らしく生きる 地域社会目指して

真柄福祉財団設立30周年

理事長インタビュ



真柄 紀子理事長

真柄福祉財団  
(新潟市中央区)

つながる ひろがる 心が通う

## 3つの優しさで支援活動

公益財団法人「真柄福祉財団」(新潟市中央区)が設立されて今年度で30周年を迎えた。財団は設立当初から新潟県内の福祉施設などへ経済的支援を続け、車や備品の購入、施設の整備などに助成している。近年は経済的支援の一方で「ふれ愛コンサート」など、文化的な活動にも力を入れる。障がい者福祉の充実と向上を目指し、今後どう、財団をかじ取りしていくのか、真柄紀子理事長にインタビューした。

―財団設立30周年、おめでとうございます。

「ありがとうございます」  
―財団設立の経緯を教え

電 Ⅱ 県内で家電量販店「真  
の社長だった父の準一  
Ⅱ 2017年、85歳で死去

Ⅱ が、障がい者福祉の振興

のために経済的支援をしよ  
うと、1994年に設立し  
ました」

―財団の基本理念は何で  
しょうか？

「『重い障がいを持った人  
たちも地域社会の中でも  
に生き生きと生活できる社  
会の実現を』です。理念実

現のため、県内の福祉団体  
や施設に経済的支援を続け  
ています」

―設立以来、財団が活動  
の基調として大切にしてい  
たものは何ですか？

「障がいのある人がその  
人らしく生きていける地域  
社会づくり」です。そのた  
めにも『障がいに対する理  
解を深め、つながる・ひろ  
がる・心が通う3つの優し  
さ』の支援を目指していま  
した」

―財団の理事長は、お父  
様が亡くなられた後、お父  
様のご友人が一時、務めた。  
その後の21年6月、紀子さ  
んが就任しました。

「私が理事長に就任して  
から、支援事業について3  
つの方向性を示しました。  
『発達障がい児(者)への支  
援』『障がい者の高齢化に  
よる重度化への支援』『親  
亡きあとへの支援』の3つ  
です。支援事業に反映させ  
るよう、努めています」

―もう少し、具体的に説  
明をお願いします。

巻頭  
特集

『発達障がい児(者)への支援』は、発達障がい児が増えている中で、そうした子どもたちが生活しやすくなるような支援を継続します。次の『障がい者の高齢化による重度化への支援』と『親亡きあとへの支援』

は関連してはいますが、障がいのある人が高齢になると、介護はさらに難しくなり、高い意識や技術が求められます。高齢になって重度化し、その後、親が亡くなっても障がいのある人がその人らしく生きていける

環境づくりのためにも、福祉関係者対象のセミナー開催や人材育成も支援の対象としています  
—福祉の学術研究への支援も始めました。  
「これも、3つの支援の方向性の一環です。知的障

## 財団 「真電」創業の亡父設立

がいと精神障がいの2分野の研究について昨年度、支援しました」  
—もう少し具体的に教えてください。

「県立大学と新潟医療福祉大学の教員1人ずつにそれぞれ、財団の3つの支援に関連する研究を委託し、研究費用を支援しました。研究成果は財団に帰属するので、多方面から閲覧・利

【真電】新潟県内に初めて店舗網を展開した、地場の家電量販店。創業は代表取締役社長を務めた真柄準一氏(2017年に85歳で死去)。  
1958年に家電販売の真柄電器商会として創業、75年に株式会社「真電」へ改組。県内の幹線道路沿いに店舗を造って業績を伸ばし、最盛期

の1998年頃には33の店舗網を構築した。その後、大型家電量販店の県内進出が続き、次第に業績が低迷。業務提携にも取り組んだが、改善が進まず、2007年に株式会社ノジマが真電を吸収合併することに合意。真電店舗は統廃合されていた。  
(ウィキペディアなども参照)

用していただき、福祉の向上に生かしてほしいと思っています」  
—毎年、委託するのですか？

「まずは昨年度から3カ年の委託契約を結び、研究業務を進めてもらっています」  
—財団法人はその仕組み

として基本財産の運用益で事業を行うと習いました。真柄福祉財団が経済的支援を長く続けられる仕組みを教えてください。

「財団は、家電量販店ノジマ(本社・横浜市)の株式を所有しており、それが基本財産です。その配当金で経済的支援を続けています。所有株式は、他界した母の持ち株や、財団設立に賛同してくださった方々から寄付されたものです」  
—財団は発足当初から福祉施設などへの経済的支援を続けてきました。直近の1年間、財団からの支援金額、支援を受けた施設の件数を教えてください。



財団の式典で参加者に寄り添う、在りし日の真柄準一氏(左)

## 障がい福祉の振興に関心



故 真柄 準一 氏



真柄福祉財団からの経済的支援で購入した車両と福祉施設の利用者ら

(4ページへ続く)

# 真柄ふれ愛コンサート 上越と新潟、2カ所開催



アコーディオン奏者のcobaさんを招いた「真柄ふれ愛コンサート」であいさつする真柄福祉財団の真柄紀子理事長＝令和6年12月、新潟ユニゾンプラザ

## 障がい者らの創作作品 アール・ブリュット展も



障がい者らの作品を展示した「真柄ふれ愛アール・ブリュット展」＝令和4年2月、新潟日報メディアシップ

柔軟できめ細やかな支援たえまなく

財団の活動



真柄福祉財団  
ホームページ  
こちらから！

次代への支援

# 「物から人へ」転換模索 要望受け「物も人も」に

（3ページから続く）  
「助成事業は『備品等・施設整備』『人材育成・地域生活支援』『文化・スポーツ・余暇活動』『福祉活動

啓発』の事業体系に分かれています。このうち『備品等・施設整備』が発足当初からの経済的支援であり、令和5年度は63件、金額で

計3000万円の助成です」  
「備品・施設整備」以外の事業はどうですか？  
「昨年度に第26回を数え

た『真柄ふれ愛コンサート』は今年度、設立30周年記念として上越市で10月に、12月には新潟市でも開きました。障がい者のアート作品を展示する『真柄ふれ愛アール・ブリュット展』は令和3年度に初めて開催し、今年度は第2回を開きました。このほか、健康教室やセミナーも開催しました」

「財団の経済的支援は今後変わりませんか？」  
「実は支援事業の比重も『物から人へ』と、転換しようとも考えました。ですが『備品等・施設整備を従来通り、続けてほしい』との要望が多く、今後は『物も人も』と、支援事業を進めようと考えています」  
「社会福祉はこの30年で前進し向上したと推測しますが、どう感じますか？」  
「福祉事業所のエアコンや洋式水洗トイレなど、今は当たり前でも30年前は違いました。それだけ、大勢の努力があつて改善したと思います。でも、車いすや白杖の障がい者が出歩く姿を、新潟のまちでよく見掛けますか？ 大都市に比べるとまだまだ、少ない気がします。障がいのある人に、気軽に外出してほしい。また、気軽に外出できるまちであってほしいと願います」



# 赤い羽根情報

## 送迎車両 今年もありがとうございます

### 県遊技業協組が 新潟の2法人へ

新潟県遊技業協同組合からの寄付を原資に、県共同募金会が福祉関係の2施設へ利用者送迎用として障害者支援車両を贈呈。助成交付式が12月9日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで開かれました。写真Ⅱ。



贈呈車両はワンボックスタイプの乗用車です。式では、県遊技業協組の朴永雅理事長が「助成は今

回で13回目になり、贈呈した車両を見かけることも増えた。関係者から感謝の言葉を頂き、地域のお役に立っていることに喜びとやりがいを感じる」とあいさつしました。

贈呈を受けた社会福祉法人「新潟地区手をつなぐ育成会」(新潟市中央区)の白倉榮三業務執行理事は「自力通所が困難な利用者がいるうえ、養育者の高齢化もあり、送迎サービスは欠かせない」と述べ、また、NPO法人「あおぞら」(新潟市江南区)の就労継続支援B型事業所「あおぞらポコレーション」の田中享施設長は「施設外就労に力を入れており福祉車両は必要なので大変ありがたい」とそれぞれ謝意を表しました。

社会福祉協議会の職員を対象にした「社協のための『広報のチカラ』講座」が令和7年度4月から8カ月連続のオンライン方式で開かれます。連続講座と同時に「全国社協広報紙コンクール」も開催されます(申し込みはすでに締め切り)。

ともに主催は全国社協広報紙コンクール実行委員会です。実行委代表は、新潟県社協主催の

### 県社協研修でおなじみ 窄口さん(兵庫県)講師

## 4月から8回連続 広報のチカラ講座

「市町村社協 広報研修会」の講師を3年間務め、講義が「分かりやすい」と好評だった、Printコーディネーター(兵庫県三田市)代表の窄口真吾さんです。

連続講座の第1回(4月)は「『伝わる』ための広報講座」で「新任広報担当者に聞いてほしい内容」としています。

予定では11月まで毎月1回

「受賞広報紙から学ぶレイアウト」「受賞広報紙から学ぶ写真」「ホームページ・SNS活用」「最優秀賞社協から学ぶ広報紙」などのテーマで連続講座を開催します。

申し込み締め切りは4月10日ですが、年度途中からの参加も可能です。

参加費は1アカウント6600円で、追加1アカウントは

4400円です。1アカウント

で複数人の閲覧はできません。

講座開催はオンライン(ZOOM)です。

申し込みは専用ホームページから

<https://www.shakyokoho.print-for.com/>

問い合わせは窄口さん  
Eメール

[shakyokoho@print-for.com](mailto:shakyokoho@print-for.com)

電話 050(3596)0511

令和6年度

ホームページでも内容を紹介しています  
<https://www.fukushihoken.co.jp>

# 全社協 保育所・認定こども園の損害補償

スケールメリットを活かした充実した補償と割安な保険料です。



◆加入対象は社会福祉法人等が運営する認可保育所、認定こども園

## セットプラン

保険金額	基本セットプラン	天災セットプラン	
賠償事故に対応	身体賠償（1名・1事故）	1億円・7億円	2億円・10億円
	財物賠償（1事故）	1,000万円	1,000万円
	受託・管理財物賠償（期間中） うち現金支払限度額（期間中）	200万円 20万円	200万円 20万円
	人格権侵害（期間中）	1,000万円	1,000万円
	事故対応特別費用（期間中）	500万円	500万円
	被害者対応費用	1名につき 5万円限度 1事故 10万円限度	
園児の傷害事故に対応	死亡保険金	121.2万円	108万円
	後遺障害保険金	程度に応じて死亡保険金額の4%～100%	
	入院保険金（1日あたり）	1,700円	1,500円
	手術保険金	入院中の手術：入院保険金日額の10倍 外来の手術：入院保険金日額の5倍	
	通院保険金（1日あたり）	1,100円	1,000円
天災補償	なし	あり	

基本セット補償保険料計算例 100名で加入の場合	
賠償	29,300円
傷害 870円 ×100名 ×1口	87,000円
合計	116,300円

セットプランをおすすめします!!



## 個別プラン

### プラン1 保育所業務の補償

- 基本補償
  - オプション1 ● 地域子育て支援拠点事業等補償
  - オプション2 ● 保育所の借用不動産賠償事故補償
  - オプション3 ● 看護職の賠償責任補償
  - オプション4 ● クレーム対応サポート補償
- 個人情報漏えい対応補償
- 保育所の什器・備品損害補償

### プラン2 保育所利用者の補償

- 園児の傷害事故補償
- 来園者の傷害事故補償
- 園児送迎車搭乗中の傷害事故補償

### プラン3 職員等の補償

- 職員の労災上乗せ補償  
使用者賠償責任補償
- 役員・職員の傷害事故補償
- 役員・職員の感染症罹患事故補償
- 雇用慣行賠償補償

### プラン4 法人役員等の補償

社会福祉法人役員等の賠償責任補償

●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約（賠償責任保険、サイバー保険、学校契約団体傷害保険、普通傷害保険、労働災害総合保険、約定履行費用保険、動産総合保険、費用・利益保険）です。

●このご案内は概要を説明したものです。詳細は「保育所・認定こども園の損害補償」手引またはホームページをご参照ください。

団体契約者 ▶ **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

〈引受幹事 保険会社〉 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課  
 TEL：03(3349)5137  
 受付時間：平日の9:00～17:00(土日・祝日、年末年始を除きます。)

取扱代理店 ▶ **株式会社 福祉保険サービス**

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
 TEL：03(3581)4667  
 受付時間：平日の9:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除きます。)

(SJ23-11599より抜粋)

# 令和6年度 新潟県社会福祉協議会 賛助会員 ご支援・ご協力ありがとうございました。

本会の活動の趣旨にご賛同いただき、多くの皆様から会費をお寄せいただきました。  
本会が取り組んでおります地域福祉向上のための広報、啓発事業などさまざまな事業に活用させていただきます。今後とも、ご理解とご支援・ご協力をお願い申し上げます。

【企業・団体等】(敬称略)	【企業・団体等】(敬称略)	【企業・団体等】(敬称略)
株式会社新潟日報社	株式会社コロナ	新潟県行政書士会
株式会社新潟放送	株式会社本間組	新潟県火災共済協同組合
株式会社NST新潟総合テレビ	株式会社植木組	学校法人新潟総合学園
株式会社テレビ新潟放送網	新潟冷蔵株式会社	学校法人新潟平成学院
株式会社新潟テレビ21	株式会社福田組	学校法人新潟青陵学園
株式会社第四北越銀行	アクシアル リテイリング株式会社	学校法人敬和学園
株式会社大光銀行	株式会社ブルボン	学校法人新潟科学技術学園
新潟県信用農業協同組合連合会	株式会社BSNアイネット	公立学校法人新潟県立看護大学
新潟県信用組合	株式会社電通東日本新潟支社	株式会社新宣
新潟信用金庫	ホリカフーズ株式会社	株式会社たかだ
三条信用金庫	株式会社新潟博報堂	株式会社新潟クボタ
新潟県労働金庫	株式会社アークベル	旭ビル管理株式会社
株式会社新潟日報メディアネット	公益財団法人新潟県女性財団	ゆきぐに信用組合
東北電力株式会社新潟支店	社会福祉法人恩賜財団済生会支部	学校法人国際総合学園
セコム上信越株式会社	新潟県済生会	株式会社ウオロク
新潟総合警備保障株式会社	新潟日報会	上越ケーブルビジョン株式会社
北陸ガス株式会社	一般社団法人新潟県健康管理協会	新潟観光開発株式会社
亀田製菓株式会社	一般社団法人生命保険協会	株式会社ノザワコーポレーション
岩塚製菓株式会社	新潟県協会	
中越運送株式会社	高田西城病院	

※企業・団体の賛助会員のみ掲載。

## 令和7年度 賛助会員を募集しています

### ◇お問い合わせ・お申し込みは

社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 総務管理課  
〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階  
電話 025(281)5520 Fax 025(281)5528  
ホームページ <https://www.fukushiniiigata.or.jp>



2025年 2月							2025年 3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
						1							1
2	3	4	5	6	7	8	2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15	9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22	16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28		23	24	25	26	27	28	29
							30	31					

営業時間 11:30~16:30 □ …は休業日

福祉の店  
パレット情報

# 知事への重点要望

- 1 福祉活動指導員設置事業補助金の増額  
(新潟県社会福祉協議会)
- 2 民生委員・児童委員活動への理解と協力を広げる広報活動の一層の充実  
(新潟県民生委員児童委員協議会)
- 3 高齢者施設修繕並びに建て替え等への支援  
(新潟県老人福祉施設協議会)
- 4 現行補助金額の増額  
(新潟県老人クラブ連合会)
- 5 障害のある人のスポーツ活動を組織的・継続的に支援していくための体制強化  
(新潟県身体障害者団体連合会)
- 6 急激な物価高騰や報酬改定を踏まえた要望  
(新潟県手をつなぐ育成会)
- 7 重度心身障害者医療費助成制度(県障)について  
(新潟県精神保健福祉家族会連合会)
- 8 ひとり親家庭等就業・自立支援センター事業の支援体制の強化  
(新潟県母子寡婦福祉連合会)
- 9 県委託事業における委託費の増額  
(新潟県社会福祉士会)
- 10 介護職員のキャリアアップ支援と就労促進  
(新潟県介護福祉士会)
- 11 介護支援専門員への介護職員処遇改善加算等について  
(新潟県介護支援専門員協会)
- 12 県からの官需拡大と民需拡大に向けた支援  
(新潟県社会就労センター連絡協議会)

「新年早々、勘弁してくれよ」と思った。情けないことに私にパンク応急修理の心得はない。業者に助けを求めようにも正月休みだ。結局、その日は徒歩で出かけた。タイヤも翌日には修理が完了したものの、嫌な意味で記憶に残る年明けとなった



「受け入れる力」だけは継続して磨いていきたい。期せずして新年の目標が定まった瞬間だった。

(KILLIN)

## 受け入れる力

年明け間もない2日、惰眠を貪る生活に終止符を打とうと外に出た。目的はなかったが、車を適当に走らせていれば何か思いつくだろうと、車に乗り込もうとした。あれ、心なしか車高が低い。よく見ると左前輪が見事にパンクし

ずくむ  
2025  
Vol.79

## 現実踏まえ次善の策へ

しまった。私も人間なので、腹が立たなかったと言えようところなる。ただ、腹を立てたところパンクが直るわけではない。この場合「車が使えない」という現実を受け入れた上で、次善の策をどうするかが重要だったのではないだろうか。今回のことに限らず、人生というのは思い通りにいかないことの連続だ。むしろ、思い通りにいくことの方が圧倒的に少ないと、40年弱、人間をやってきて感じている。それでも、人間は生きていかなければならない。そのために必要なのが「受け入れる力」ではないかと思う。

よく言われる「逆境を楽しむ」なんて意識の高いことができる自信は私にはないが



# 人件費増、物価高に対応を

## 12団体 共同で知事に要望

令和7年度新潟県予算案について、新潟県社会福祉協議会など県内12の福祉団体の代表が12月24日、県庁に花角英世知事らを訪ね、重点要望と一般要望をまとめた共同要望書を提出しました。(重点要望項目は8ページに掲載)



福祉12団体による花角知事への新年度予算共同要望

### 知事 福祉団体の活動応援へ 予算編成で考えてゆく

各団体から取りまとめたのは知事への重点要望12項目と、福祉保健部長への一般要望10項目です。

今回の重点要望は、深刻化する人材不足や人手不足に加え、諸物価の高騰に直撃された各団体の厳しい運営実態を反映。「補助金の増額」「委託費の増額」など、それぞれの団体の活動基盤に関わる深刻な要望や訴えが目立ちました。

このほか、民生委員・児童委員の成り手確保へ「理解と協力を広げる広報活動の充実」や、高齢者施設の経年劣化を踏まえ「修繕や建て替えの支援」、ひとり親家庭の就業や自立支援に



県福祉保健部の副部長ら(写真奥)に予算要望

令和7年度の県予算案に対し、県知事へ共同要望した福祉12団体は次の通り。

県社会福祉協議会▽県民生委員児童委員協議会▽県老人福祉施設協議会▽県老人クラブ連合会▽県身体障害者団体

向け「支援体制の強化」、介護職員に求められる高い専門性を踏まえ「キャリアアップ支援と就労促進」など、時世を映し出した要望が相次ぎました。

花角知事との面会では、県社協の竹内希六会長が団体を代表して共同要望書を手渡しました。

この後、各団体の代表が1人ずつ、活動の実情などを知事に訴えました。

連合会▽県手をつなぐ育成会▽県精神保健福祉家族会連合会▽県母子寡婦福祉連合会▽県社会福祉士会▽県介護福祉士会▽県介護支援専門員協会▽県社会就労センター連絡協議会

要望を聞き終えた知事は「県財政の状況もあるが、どうすれば現状を改善できるのか、しっかり見極めたいうえで皆さんの活動を応援したい。予算編成で知恵を出し、考えていきたい」と応えました。

最後に、竹内県社協会長が「人件費と物価高の中で、どの団体も営利事業は行わずに自助努力している現状を理解いただいたと受け止める。新年度予算では温かい助成をお願いしたい」と、重ねて要望を伝えました。

知事への要望の後、福祉団体は、県福祉保健部の副部長に県新年度予算案編成に際しての10項目の一般要望書を提出。各課長らも同席する中、各代表らは団体の実情を訴え、予算実現を求めました。



「会話は不自由ない？」

「明瞭には聞こえない。スマホなどのコミュニケーション支援アプリ『UDトーク』も一緒に使うと相手の発話を文字に起こして

くれるので、画面の文字を読めば会話できます」

「県中途失聴者・難聴者協会の会長にはいつ？」

「副会長を2年間務め、4年前から会長です。会員は現在約50人で、多くはない。入会しない当事者も相当いると思われます」

「活動のため、広い県内をどうやって動く？」

「車を運転します。2008（平成20）年から重度の聴覚障害者も運転できる

## 人や社会とのつながり大切 発語を文字に 支援アプリ役立つ

ようになりました。その条件として、後方を見やすくする車内ワイドミラーの装着と、聴覚障害者標識

（蝶々マーク）の車体前後への取り付けが必要です」

「入会していない当事者に向けて一言。」

「聴力がなくて会話できないと、人とのコミュニケーションが難しい。だからといって、引きこもってばかりだと認知症の発症が心配される。認知症を遠ざけるためにも、私たちの協

【新潟県中途失聴者・難聴者協会】1992（平成4）年に設立、会員約50人。

会員相互の親睦のため、交流会やレクリエーション活動のほか、講習会、講演会も開催。

新潟県と新潟市から委託を受け、県と市それぞれの「要約筆記者養成講座」を毎年、開催。

▽協会E-mail  
e-rose@post.email.ne.jp  
▽協会Fax  
025（382）5684



UDトークは音声文字起こしなどの機能があるアプリ。UDはユニバーサルデザイン（すべての人のためのデザイン）の略。

会に入るなどして、社会や

人とのつながりを保ち、前を向いて生活してほしい」

「社会的な支援に不満は

新潟県中途失聴者・難聴者協会主催

グループ課題  
旅行計画立案

## 失・健聴者ら一緒に 工夫重ね意思疎通

新潟県中途失聴者・難聴者協会が主催する「難聴・

中途失聴者の高齢者のサポーター養成講座」が昨年12月1日に長岡市で、15日には新潟市で開かれました。講座は、聴覚障害者の支援施設を運営する株式会社「Deaf Heart」（柏崎市、deaf heart 英語で「聞こえない」が共催、代表の武藤洋一さんが講師を務めました。講座にはサポーターを目指して手話を学ぶ学習者のほか、聴覚障害の当事者など、2会場合わせて約110人が参加しました。

新潟市の講座で盛り上

ないか？」

「筆談をしてくれる人も増えたし、スーパーなどで尋ねると商品の売り場まで

## 長岡・新潟でサポーター養成講座

がったのは「コミュニケーションの方法」のグループワークでした。グループは聴覚障害者も健聴者も一緒に、コミュニケーション方法を工夫してバスツアーの計画立案を目指しました。多くのグループが筆談

「手話もできず、家から出られなくなった」「家族の会話で自分だけ笑えず疎外感があった」などの切実な体験談が聞かれました。武藤講師は講座のまとめとして「難聴・中途失聴者の高齢者を外の世界へと、連れ出す存在になってほしい」「入口の人になろう。入口の人を探そう」と、受講者に呼び掛けました。



サポーター養成講座のグループワーク

案内してくれる。合理的配慮の浸透を感じられ、以前よりは良くなったが、改善点はまだあると思う」

新潟県社協職員「見たまま」報告

豪雨追い打ち、疲弊否めず

閉店早い商店、スーパー

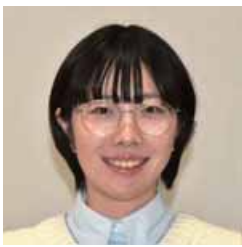
昨年元日の地震で甚大な被害を受けた後、9月には記録的豪雨に見舞われ、復旧の途上でまたも大災害に襲われた石川県の能登半島。地元の社会福祉協議会が設置した災害ボランティアセンター（VC）の運営を支えるため、新潟県社協など全国の都道府県社協が市町村社協とともに職員を派遣しています。「地震から1年」目前の昨年12月、珠洲市災害VCに派遣された、新潟県社協の齋藤日和主事が「見たままの被災地」を伝えます。



復旧の手が回らないのか、傾いたままの家屋＝石川県珠洲市

能登半島地震1年

12月16日から22日、珠洲市に派遣され、移動日を除いて5日間、災害VCで被災者から支援の要請を受けるニーズ班として活動しました。派遣は5月の能登町に続き、2度目でした。今回は、地震から1年ということもあり、本来ならば復旧復興ぶりを見たかったのです。しかし、9月の豪雨災害で追い打ちを掛けられた能登半島は、残念な



新潟県社会福祉協議会 齋藤 日和 主事

がら疲弊が垣間見えた気がしました。VCは市中心部にあり、宿泊先から朝夕、通う間に町の様子が見て取れました。復旧復興に誰しも懸命なのですが、中には浮き上がったままのマンホールや、いまだ土砂が押し寄せた民家

など、手つかずのまま災害の爪痕が残っており、心がふさがれる思いでした。2度の災害で地元を離れる住民が相次いでいることは報じられています。そうした人口減も関係してか、中心部でもスーパーや商店の閉店時刻が早まるなど、市民生活は一層、不便になっていくようでした。さらに、人口減少は各方面で顕著になっていきます。最初に石川県社協からのレクチャーによると、私たちにとって身近な珠洲市社協の職員でも、転出など理由で相当な数の退職が出ていくそうです。

人口約1万2千人で、高齢化率が50%超の珠洲市にとって、人口減少は切実だと実感できました。今回の派遣では支え合い

の大切さも改めて感じました。私たちの活動が珠洲市の復旧復興に少しでもつながることを願っています。

◇おことわり◇「パレット情報」は7ページです。

編集後記

2021年公開の映画「護られなかった者たちへ」は連続殺人事件のミステリー仕立てながら、現代の社会福祉制度にも切り込み、社会派作品と評された。倍賞美津子さん演じる高齢女性は食べるに事欠くのに「生活保護の世話になるのは申し訳ない」と申請を拒み続け、拳句に亡くなる筋書きで、衝撃的だった。日本人は権利の主張が得意でないと言われてきたが、時は21世紀の令和、権利意識も変化したのでは、と思っていた。ところが、新潟県中途失職者・難聴者協会が昨年12月に開いたサポーター養成講座を取材、社会福祉制度やサービスの利用に消極的な人がいまだ少なくない」と知り驚いた。誰しも最期まで自力で生活できれば一番いい。しかし、病気や加齢、事故などでそうできないことも少なくない。そんな時のために、先人たちが整えてきたのが現在の社会福祉の制度やサービスだ。必要な人たちが受益して当然なのだ。翻って自分なら、制度もサービスも存分に使いたい。必要なら、頭を床にすり付けてでもお願いする。プライドも見栄もかたぐり捨てよう。生きるかたぐりに執着し、食欲でありたい。生きていくことはそれだけで尊いのだから。（佐

この機関誌は、赤い羽根共同募金の助成を受け発行しています。

発行所／社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会 新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ ☎ 025-281-5584 発行人／関原 貢 定 価／5円（会員の購読料は会費に含む）

福祉にいがた 令和7年2月1日発行（毎月1日発行） 印刷／島津印刷株式会社